

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は幼い頃からエレクトーンを習ったり、中学・高校は吹奏楽部に所属したり、音楽が大好きでした。大学でも音楽を続けたいと思い、同志社女子大学を志望しました。また、オープンキャンパスの実技レッスンを受けた時、講師の方に色々なことを教わり、大学でももっと教わりたと思いました。

(2) 一般入試対策としての受験勉強、実技試験対策の進め方について。 ※音楽学科入試課題については、『2020年度音楽学科入試課題』で必ずご確認ください。

〔1学期〕

この時期はまだあまり本格的な勉強はしておらず、授業以外に空いた時間に視唱をしたり、休み時間に実技の練習をしたりしていました。また、レッスンをしていただいている先生と受験について話し合い、今後に向けての計画を相談して決めていました。

〔夏休み〕

夏休みの上旬まで部活に集中しており、引退してから本格的に受験勉強を始めました。毎日実技の練習と視唱の練習をしていました。また、実技は自分に合う練習法を探しながら取り組んでいました。基礎の練習が大事なので、課題曲や自由曲よりも基礎を多めに練習し、イチから見直していました。

〔2学期～入試直前〕

学校では朝と昼休みと放課後に実技の練習を毎日していました。試験に備えて通し練習をしたり、それを動画で撮って自分で改善点を探したりしていました。他の勉強は、過去問をたくさん解いて苦手な部分を徹底的に勉強するようにしました。また、友達に自分の実技の曲を聴いてもらったり、一緒に勉強したりすることでとても励みになりました。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は本格的に勉強するのが遅く、部活や行事に力を入れていました。空いた時間に少しでもいいので勉強をしたりすると部活などとうまく両立できると思います。テレビやスマートフォンを見る時間を決めてけじめをつけて生活したり、受験前は夜遅くまで起きないようにして体調管理をしっかりとすると良いと思います。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私は受験を終えて、練習することが一番大事だと思いました。実技などの練習をたくさんすることで自分に自信が持てるようになりました。また、友達と励まし合ったりすることで自分は一人じゃないと思うことができました。家族や友達と支え合いながら元気で頑張ってください!!!!